

2013年12月11日、徳島大学産学官連携推進部、徳島大学地域創生センターとミラツクが協力し、新しいダイアログBARが始まりました。第1回目は、issue+design代表の笥裕介さんをゲストスピーカーとしてお迎えし、企業、行政、NPO、教育機関、大学関係者などの方々と対話を行いました！

第2回は、「地域の力を活かすソーシャルビジネスの力」をテーマに、全国の伝統産業の職人さん200人のネットワークを持ち、国際的なデザイナーとの協働でベビーキッズ向けの商品開発と市場開拓を行う、株式会社和えるの矢島里佳さん(<http://a-eru.co.jp>)が登場します。

様々な立場から同じような関心・課題意識を持った仲間が集まり、その仲間たちとアイデアを具体化し実現するための”つながり”と”協働”が生まれる「ダイアログBAR in 徳島大学」で、多くの方とお会い出来るのを楽しみにしています。

主催: 徳島大学産学官連携推進部 共催: 徳島大学地域創生センター、NPO法人ミラツク

※ ダイアログBAR in 徳島大学は、文部科学省の「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業」(イノベーション対話促進プログラム)として実施されます

<今後のダイアログBAR in 徳島大学の予定>

○第3回 ゲスト:READYFOR? 代表 米良はるかさん

場所: 徳島大学工業会館



第一回 2013年12月11日(水)

第二回 2014年1月29日(水)

第三回 2014年2月26日(水)

社会問題を解決する  
ソーシャルデザインの力

ゲストスピーカー

issue + design 笥 裕介

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

地域の力を活かす  
ソーシャルビジネスの力

ゲストスピーカー

株式会社和える 矢島 里佳

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

プロジェクトの実行を実現する  
クラウドファンディングの力

ゲストスピーカー

READY FOR? 米良 はるか

コーディネーター

NPO法人ミラツク 西村 勇也

徳島大学地域創生センター 吉田 敦也

時間: 18:30 - 21:00

会場: 徳島大学 常三島キャンパス 工業会館

参加費 無料

文部科学省「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業」(イノベーション対話促進プログラム)

## 開催概要

時間: 18:30~21:00(18:20開場)

会場: 徳島大学 工業会館(常三島キャンパス内)  
(アクセス) <http://www.tokushima-u.ac.jp/access/>

参加費: 無料

対象: より良い地域づくり、大学と地域の連携、市民活動、NPO活動、ソーシャルビジネスなどに関心のある方(徳島大学の学生・教職員に限らず、一般の方もご参加いただけます)

定員: 40名(先着順)



お申し込み: <http://bit.ly/1bSdL8q> (必ずインターネットよりお申し込みください)



## 内容:

- 18:30-19:30ゲストによるトークセッション(ゲスト:株式会社 和える代表 矢島里佳さん)
- 19:45-21:00ダイアログセッション(ファシリテーター:NPOミラツク 代表理事 西村勇也)

連絡先: 徳島大学産学官連携推進部 イノベーション対話促進プログラムオフィス  
TEL: 088-656-9702 Email: [cr-dialog@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-dialog@tokushima-u.ac.jp)

## ゲストの紹介

- 矢島里佳(やじまりか)さん 和える代表 (<http://a-eru.co.jp>)

職人の技術と地方の魅力に魅かれ、19歳の頃から日本の伝統文化・産業の情報発信の仕事をはじめ。「21世紀の子どもたちに、日本の伝統をつなげたい」という思いから、2011年、慶応義塾大学卒業と同時に株式会社和えるを設立。

幼少期から職人の手仕事に触れられる環境を創出するべく、子どもたちの日常品を日本全国の職人と共につくる”0歳から6歳の伝統ブランドaeru”を立ち上げる。また、職人の技術を用いたオリジナル商品・イベント企画・講演会やセミナー講師、書籍出版など、和のコンシェルジュとして幅広く活躍している。

## ファシリテーターの紹介

- 西村勇也(にしむらゆうや) NPO法人ミラツク代表理事 <http://emerging-future.org/>

大阪大学大学院にて人間科学(Human Science)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、NPO法人ミラツクを設立。

2008年から始めたダイアログBarの取り組みには2年半で1500人が参加。2011年5月から次世代を担うユースリーダーの育成を目指す”Art of Social Innovation”の取り組みを開始。

2012年11月から社会課題の解決を目指すプロジェクトリーダー向けワークショップ”Design for Social Innovation”の取り組みを開始。

また、2011年よりソーシャルビジネス事業者、NPOリーダーを中心に、大学教員、行政職員、企業CSR、デザイナーなどが加わるソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりの取り組みを開始。全国各地で、次世代を担う社会的なリーダー&イノベーターの育成とセクターを超えた協力を生み出すためのマルチステークホルダーの対話の場づくりに取り組む。